

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 住 所 氏 名	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
8 年 第 2 号	8. 6. 2	「土浦協同病院なめがた地域医療センター」の病院機能回復を求める請願 【主旨】 なめがた地域医療センターは、医療過疎地である旧行方郡5町村において、長年の悲願であった総合病院として、2000年6月に開院した。 開院にあたっては、茨城県厚生農業協同組合連合会(厚生連)から33億円、国から33億円、茨城県から33億円、地元町村から9億円の財政支援が行われ、さらに地元組合員からも1億円の出資を受けて建設された、極めて公共性の高い公的医療施設である。 2006年には地域救命救急センターに指定され、集中治療室を含む5つの病棟が稼働した。外来、入院、手術、救急医療、透析センターを備え、地域住民の命を守る医療拠点として大きな役割を果たしてきた。 しかしながら、医師確保の困難化により、2016年には救命救急センターの運用が停止された。 その後、土浦協同病院の新築移転等に伴う茨城県厚生連の経営環境の悪化も重なり、2019年には救急医療および入院機能が休止され、外来診療に特化する体制になった。さらに、2024年度末には透析センターも閉鎖された。 このままでは、今後さらなる医療機能の縮小が懸念される。 現在、鹿行地域は厚生労働省が指定する「医師少数地域」であり、地域内には茨城県が指定する地域医療支援病院も存在していない。	地域医療と生命をまもる会 請願代表者 高須 敏美 外22,021名	松 田 千 春 村 田 康 成 小松崎 敏 紀 木 村 喜 一	保健福祉 医療	採 択

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 住 所 氏 名	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
		地域の安心・安全を守るためには、「土浦協同病院なめがた地域医療センター」がこれまで培ってきた人的・物的資源を再活用し、入院および救急医療に対応できる病院機能を回復させることが不可欠である。これは、行方市・潮来市をはじめとする地域住民の切実な願いである。 住んでいる地域によって、受けられる医療や生命に関わる安心に大きな格差が生じることがあってはならない。 よって、下記事項について、請願する。 【請願事項】 1. なめがた地域医療センターの病院(入院)機能の回復 2. なめがた地域医療センターにおける救急医療体制の再構築 3. 上記を実現するために必要な財政支援 以上				